

Airstretcher® series

エアーストレッチャー®は医療用搬送具として米国FDA(米国連邦食品衛生薬事局)、MDM(メディカル・デバイス・マニュファクチャリング)の認定・登録を日本で初めてそれぞれ取得しました。



エアーストレッチャー®・ラップ/キング/プロ/シラフ使用方法

[型式CYR-04K] [型式CYL-03K] [型式CYG-060] [型式CYS-050]

■ 特殊プラスチック加工の無いストレッチャーは、布団で患者さんを運ぶ要領がコツ!!

はじめに



エアーストレッチャーをキャリーバックから取り出し広げます。エアバルブを左に回す(写真③)と空気が自動的にエアーマットに吸入され、ストレッチャーの底部がクッション化されます。空気がマットに入りきるまで約60秒~90秒かかります。通常は、エアバルブを締めてから搬送作業を行います。緊急の場合は、エアバルブを締めてから搬送を行っても差し支えありません。

■ 使いなれたものこそ、イザという時役に立ちます!!

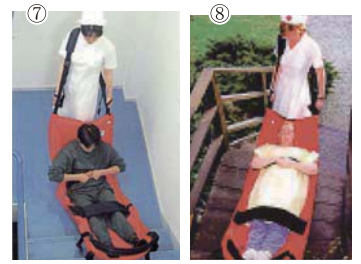
一人搬送・廊下・道路例



写真: CYL-03K仕様

ショルダーベルトを引くと足元が上がる設計になっておりますので、一人での搬送作業も行えます。ショルダーベルトを肩から擦り掛し、ハンドベルトを持ち搬送する方法と、いろいろ応用することが可能です。(写真⑤・⑥)

階段・段差例



写真提供:アメリカン・レドクロス

階段搬送は、日常生活に使用されている布団で運ぶ要領がコツです。人間は頭部が重いので、頭部をハンドベルト又は、ショルダーベルトで持ち上げ、(患者・傷病者の上半身を搬送者に引き寄せるようにして下さい。)階段は斜めに降りるようにして下さい。加速をコントロールする為と、搬送者自身の階段の踏み外し防止のためです。(写真⑦・⑧)

二人搬送例



ショルダーベルトを強く引き二人で搬送作業することも可能です。この場合進行方向に対して後ろの搬送者はストレッチャーの横に立ち、患者・傷病者の足元を上げると先頭の搬送者も楽に引くことができます。又、進行方向の確認も容易にできます。

収納方法



エアーストレッチャーを収納する場合は、必ずエアバルブを開け、下から空気を抜きながら巻いていきます。(膝などをあてて体重をかけると早く空気が抜けます。)巻き終わったら必ずエアバルブを右に回しバルブを締めて下さい。オプナーベルがある場合、オプナーベルトで巻きすれを防止するため、ベルトで締めキャリーバックに入れて下さい。

壁掛け収納方法

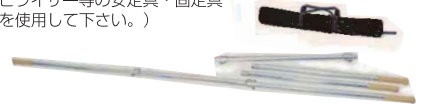


エアーストレッチャーは、院外より救援者が駆けつけた時、搬送用具の保管場所を知らせるための壁掛けフックが付いております。消火器等人の目につく場所に設置することをお薦めします。

三連結担架棒使用例



別売のエアーストレッチャー三連結担架棒を使用することにより、棒担架としても使用できます。骨折患者、傷病者などを搬送する場合、ストレッチャーシェルサイドに棒を差し込むだけでさらに安定した搬送が可能になります。(骨折、頭頸部、脊椎、腰椎などの損傷疑いのある傷病者は医師の指示によりスタビライザー等の安定具・固定具を使用して下さい。)



<エアーストレッチャー®を使用した訓練風景> 安全で正確にご使用いただくため、予行練習を行ってください。



(写真提供: 信州大学医学部)

(写真提供: 糸魚川総合病院)

(写真提供: 市立甲府病院)

安全上のご注意必ずお守りください

ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。説明内容を無視して誤った使用方法をしたとき生じる危険や損害の程度を、次のマークで区分し、説明しています。



警告

この表示は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」

お守りいただきたい内容の種類を、右のマークで区別し、説明しています。



このマークは、してはいけない「禁止」内容です。

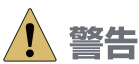


注意

この表示は「障害を負う可能性が想定される場合及び物的損害のみ発生が想定される」



このマークは、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

必ずセーフティベルトをロックしてから搬送して下さい。

患者さんをシーツまたは毛布などで被い、搬送を行ってください。

エアーマット内に水を入れしないで下さい。エアバルブ開栓時は特にご注意ください

カッターナイフやアイスピックのような鋭利な物の上で使用しないで下さい。



注意

エアーストレッチャーの上で跳びはねないで下さい。

●コンクリート、アスファルト道路上を引き摺ることもできます。もし、破けたり穴が開いた場合にも修理ができますので、お申し付け下さい。ローバル加工及び交換もできます。
●血液の付着や汚れには、指定のリネンサプライ業者をご紹介致しますのでお問い合わせ下さい。

災害拠点病院資材・備蓄資材・SARS・NBC災害資材・DMAT災害救援医療チーム資材・総合カタログのご請求は

エアーストレッチャー® 株式会社

〒380-0802 長野県長野市上松4-1-1
TEL.026-259-3400 FAX.026-259-3385